

患者ID:@PATIENTID

2009.11.13作成

@PATIENTNAME 様

肺化療(ゲムシタビン+カルボプラチン)

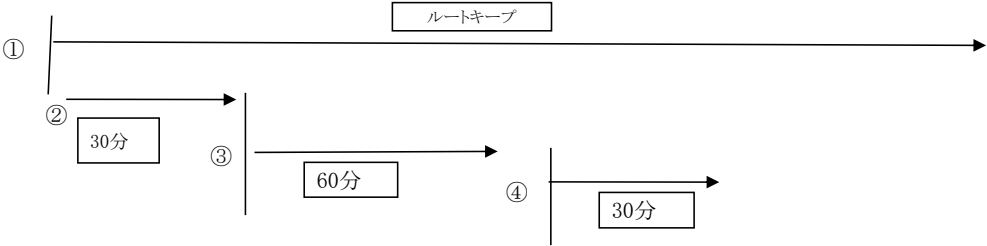
2025.9.4改訂

指示者	@USERNAME
コース数	

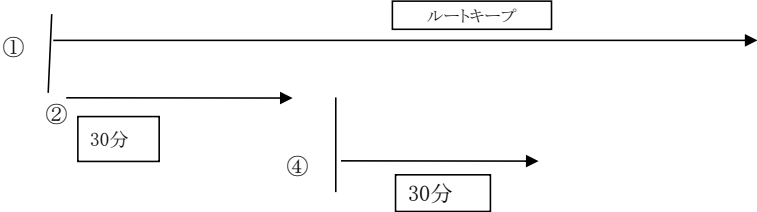
身長	HEIGHT01_D	cm	
体重	HEIGHT01_L	kg	
体表面積	#VALUE!	m <sup>2</sup>	(DuBois式)
年齢		歳	
性別			
血清クレアチニン		mg/dL	
Ccr		mL/min	(Cockcroft&Gault式(+0.2補正))
実施印			

	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路		
①	生食500mL	ルートキープ	点滴		
②	グラニセロン3mgバッグ デカドロン3.3mg 2A	30分	点滴		
③	カルボプラチン AUC5 生食 250mL ( )mg/body #VALUE! 電子カルテで計算	60分	点滴		
④	ゲムシタビン 1000mg/m <sup>2</sup> 生食100mL ( )mg/body #VALUE! 計算値	30分	点滴		

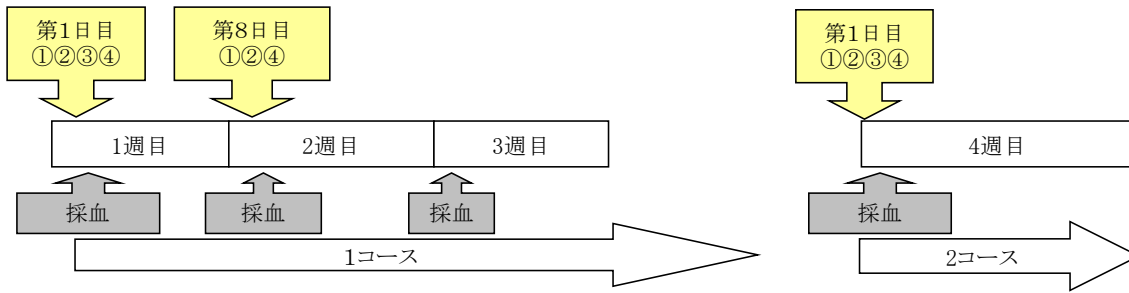
投与手順  
day1



day8



## スケジュール



**day8の時は血小板の値に要注意、特に7.5万/ $\mu$ Lを下回る場合や、治療前よりも急激な減少が認められた場合は要注意**

yamamotoの報告によれば、Grade3以上の血小板減少が81.3%でありの症例に血小板輸血を実施 癌化学療法ハンドブック2009 p74参照